

年度 2009 学期 前期	曜日・校時 水・2	必修選択 必修	単位数 1
授業科目(英語名)	総合英語 I (Comprehensive English I)		
対象年次 1年次	講義形態 演習	教室	
対象学生(クラス等)	Ef	科目分類	外国語科目(英語)
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員: 前川智子 /Eメールアドレス: t-mae@athena.ocn.ne.jp / 研究室:非常勤講師控え室 /TEL:819-2079 /オフィスアワー:授業中及び授業の前後 10 分間			
担当教員(オムニバス科目等)			
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 授業のねらい: 身近なトピック・テーマを扱いながら、総合的な英語力を高めることがねらいである。 授業方法: 授業時間を有効に利用するために、英文を読む・書くことは宿題とし、授業中はその宿題を元にもっぱら英語で話す・聞くというペア活動を行なう。毎週の課題を行った上で授業に望むことと積極的に英語で話すことが要求される。質問があれば授業中に遠慮なくして欲しい。 授業到達目標: 自分のこと(出身・仕事・趣味・旅行など)や家族のことを英語で詳しく書き、発表することが出来、更にそれについての会話を楽しむことが出来るようになる。1.5 ページ程度のアメリカ文化等についてのエッセイを読み、要点を理解できるようになる。英文の音読・発音・イントネーションが上達する。更に、長崎原爆について英語で説明ができるようになる。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要) 使用するテキストは、各章の初めに基本表現をマスターし、次にそれを応用して話し・聞く・書く・読む演習を重ねながら、徐々にその量を増やしていくように構成されているので、それに従って進めていく。今までに習得した英語力を活かし、また、語彙を増やししながら自由に英語で話し・聞き・書き・読めるようになるまで練習を重ねる。CD を利用し、overlapping, shadowing の練習で英語らしい音に敏感になり、リスニング力・スピーキング力の向上を目指す。更に、原爆アニメ『アンジェラスの鐘』の英語字幕の英語表現も学ぶ。 第1回 Orientation / Skit 1+2 (Nice to meet you, Family) / Writing 1+2 (homework) 第2回 Tom's Life - 1 (reading and writing) / Conversation 1+2 (Nice to meet you, Family) 第3回 Nagasaki Angelus Bell 1 / Skit 3+4 (Clubs and Jobs) / Writing 3+4 (homework) 第4回 Tom's Life - 2 (reading and writing) / Conversation 3+4 (Clubs and Jobs, Hobbies) 第5回 Nagasaki Angelus Bell 2 / Skit 5+6 (Traveling, Food and Cooking) / Writing 5+6 (homework) 第6回 Conversation 5+6 (Traveling, Food and Cooking) / Tom's Life - 3 (reading and writing) 第7回 Nagasaki Angelus Bell 3 / Skit 1~6 / Tom's Life 1~3 第8回 Nagasaki Angelus Bell 4 / Self introduction (presentation) (レポート提出) 第9回 Nagasaki Angelus Bell 5 / College Education in America (reading) 第10回 Nagasaki Angelus Bell 6 / Regional food in America (reading) 第11回 Nagasaki Angelus Bell 7 / Health System in America (reading) 第12回 Nagasaki Angelus Bell 8 (presentation) (レポート提出) 第13回 Holidays in America (reading) 第14回 Parties in America (reading) 第15回 授業の総括 (試験を含む)			
キーワード			
教科書・教材・参考書	「English Communication in the Classroom」(開文社出版) Nagasaki Angelus Bell 副読本		
成績評価の方法・基準等	試験(60%) 課題提出(20%) その他の宿題・授業中の活動(20%)		
受講要件(履修条件)	原則として全回出席をしなければ単位は成立しない。正当な理由があっても、欠席が4回以上となると定期試験を受ける資格を失う。30分以上の遅刻・早退は原則として欠席扱いとする。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	積極的に話を聞く・話す態度が身に付く		
備考(準備学習等)	毎回宿題(スキットの音読、エッセイの読解問題と音読、自己紹介文を書く・暗記する、原爆アニメ映画のストーリーを書く、等)を出すので、それを行った上で授業に臨むこと。		